

峠駅

1190058 来次 萌生

指導教員 吉田 晋

高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

1. はじめに

私の出身地である山形県米沢市は、東北の内陸部に位置する都市であり、4方8方を山々で囲まれた盆地である。その米沢市と福島県を結ぶ鉄道の経路の中に奥羽山脈の吾妻連峰を超え、スイッチバックを利用していた駅が4駅存在した。その内の1つの駅について考える。

2. 対象敷地

2-1. 峠駅

対象敷地は、山形県米沢市大字大沢字峠にある「峠駅」とする。(図1) 明治32年に開業した駅であり、奥羽山脈を越える鉄道である福島-米沢間のJR奥羽本線は、奥羽本線で最高の624メートルに達する。



図1：対象敷地

(国土地理院の空中写真に対象敷地を追記して掲載)

板谷峠と呼ばれるこの地域では、ポイントなどの設備を雪から守るため、ホームにはスノーシェルターが取り付けられている。雪で倒れないように、方杖で支えられている。

3. 峠駅の魅力と問題点

3-1. 魅力

峠駅の西側では、旧ホームは利用されなくなったが、スノーシェルターは現在も覆屋として残されたままである。(写真1) そのシェルターが緩いカーブを描き、晴れた日には心地よい日差しが入ってくる風景は幻想的である。

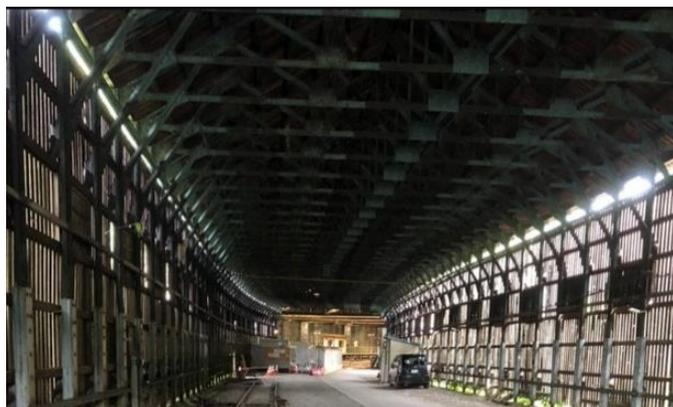


写真1：スノーシェルター

峠駅の東側では、西側とは対極的に、薄暗いトンネルへと続く不気味感があり、ホームからでは視認できない箇所にスイッチバック遺構が存在する。

また、山形新幹線は全国でも珍しく、普通電車と同じ線路を走る新幹線であるため、峠駅を通過する様子を観ることができる。

3-2. 問題点

- i) 旧駅が利用されなくなったことによって、魅力あるスノーシェルターの利用価値がなくなっている。
- ii) 茶屋が2軒あるが、その内1件は降雪のため、11月上旬から4月中旬頃まで営業を停止している。
- iii) スイッチバック遺構をPRしているにも関わらず、スイッチバック遺構を観ることができない。

4. 計画

4-1. 計画

過去使われていたが現在は使われていない空間や、現在は観えない空間を利用し、新たに用途を取り入れることによって下車する人の目的を提案し、峠駅の魅力を堪能できる空間の構築を目的とし、計画する。

4-2. 計画内容

以下の4つの施設を計画する。(図2)

- i) スノーシェルターを利用したレンタルスペースに利用
- ii) 冬でも営業できるように茶屋の移転(雪室カフェ)
- iii) 新幹線を観るスペースの設置(マルチアングル

スペース)

iv) スイッチバック遺構への道の建築 (シェルターロード)

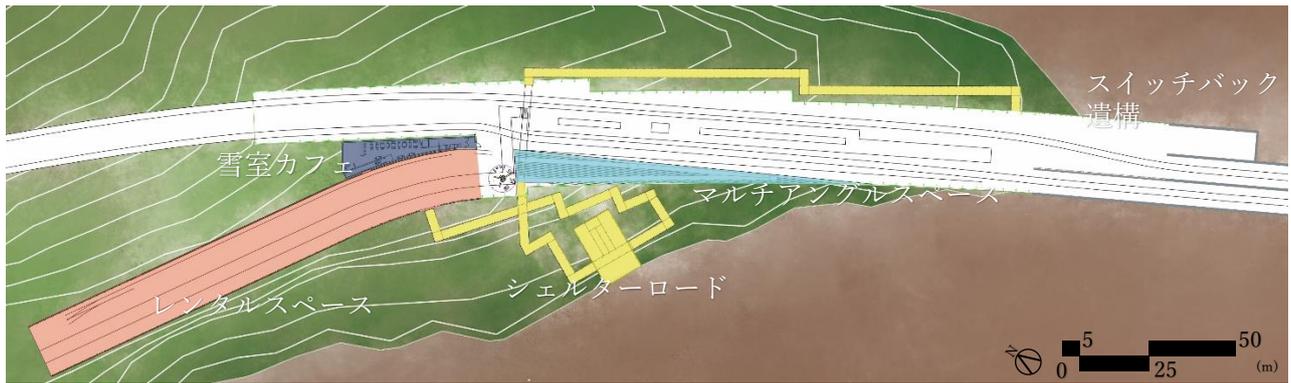


図2：計画配置図

5. 設計

i) スノーシェルターを利用したレンタルスペース

だれでも自由に利用できるレンタルスペースとして開放する。スノーシェルターの美観の低下を防ぐため、壁は設けず「米沢織」のカーテンで仕切ること

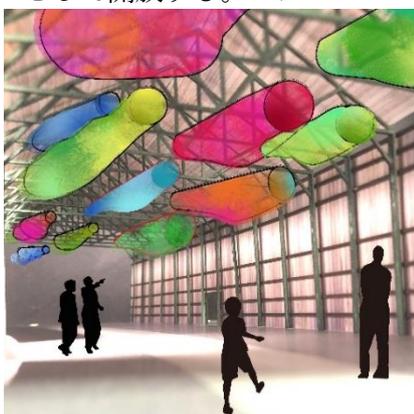


図3：スノーシェルター利用例 (鯉のぼりを吊り下げて展示会)

下を防ぐため、壁は設けず「米沢織」のカーテンで仕切ること、シェルターの魅力を感じながら、自分の時間を堪能できる。(図3)

iii) マルチアングルススペース

新幹線を観ることができるスペースと角度の増幅のために、現在は危険なため立ち入りが禁止されているスペースに階段とスロープを設けた。地面を2メートル下げることによって、安全性を確保し、下から、上から、東南からなどの視角を増幅させる。(図5)

iv) シェルターロード

駅舎と同じように雪害防止のため、スノーシェルターで繋ぐ。一度峠駅から出て、ところどころにある開けた空間から駅の内観や外観や外の景色の対比を感じながら、再度駅内へ入る。内部の橋ではシェルターの鉄骨をくぐることができ、峠駅の魅力を感じることができる。(図5)



図5：マルチアングルススペースとシェルターロード

ii) 雪室カフェ

駅のY字部分に新たに建築する。降雪地帯であることを利用し、雪室を茶屋の下に建築する。雪室の雪は1年中溶けずに残るため、夏でも観ることができる。雪室のさらに下に貯蔵庫を設け、米沢市が属する置賜地方の野菜やワインなど貯蔵する。(図4)



図4：雪室カフェの断面イメージ

6. まとめ

未活用なスペースであった、スノーシェルター、Y字の中心、立ち入り禁止区画に峠駅の魅力を堪能できる空間を設計し、「峠駅」として活用する。それにより、新幹線を撮りに来る人や夏に雪を見に来る人、レンタルスペースを活用する人といった様々な人が訪れる。

したがって、峠駅の魅力を堪能できる空間に、魅力のポイントが人の下車する目的となるような建築と空間を作り上げることができたと考える。

<参考文献>

[1] 東北農業研究「雪資源有効活用のためのU字溝型雪むろの作り方とその特性 www.naro.affrc.go.jp/org/tarc/tonoken/DB/DATA/051/051-235.pdf